

# Dance Challenge Cup 2019 in Okayama

## 実施要項

1. **大会名称** Dance Challenge Cup 2019 in Okayama
2. **期 日** 2019年6月1日(土)
3. **会 場** ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)
4. **主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン  
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル3F  
TEL:03(3556)6080 FAX:03(3556)6139  
HP: <http://www.dancedrilljapan.com/>

5. **選手登録費** 選手登録費15,000円(5名分の登録費含む)参加者1名追加につき3,000円  
SOLO/DUET/TRIO部門は参加者一名につき5,000円。  
登録費は部門毎に必要なになります。

### 6. 《エントリーについて》

★ 複数部門へのエントリー

エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。

一名につき団体二部門までエントリー可。

複数部門出る場合は、重複関係がわかるようエントリーシートに記載すること。

★ エントリー受付

エントリー数最大20枠。エントリー申込は先着順となります。

団体情報登録シート及び、エントリーシートの受付、選手登録費の入金確認をもってエントリーとします。

★ エントリー方法

\* ホームページからエントリーシートを取得し、入力の上、下記メールアドレスへ送信して下さい。

**E-Mail送付先: [challenge@dancedrilljapan.com](mailto:challenge@dancedrilljapan.com)**

★ エントリー期間

**2019年4月19日(金)12時より5月7日(火)17時まで(厳守)**

上記締切前でもエントリー上限に達した時点でエントリーを締切ます。

★ 選手登録費振込みについて

\* エントリーシート送付後、事務局で確認の上、エントリー受理の書類を団体FAX番号にお送り致しますので、内容を確認して下さい。また、エントリー受理のメールにて、**各団体ごとの団体申込番号**を発行致します。

\* 登録費はエントリー受理のメールを受信後、**3営業日以内**に下記銀行口座にお振込み下さい。

入金確認をもって正式エントリーとします。

\* **振込み人の名前は、団体申込番号とエントリーした学校・団体名を入力すること。**(例: 19001ミスダンスドリルチーム)  
(個人名での振り込みは、学校名・団体名が確認できないので注意して下さい。)

\* 振込み後の選手登録費は返還致しません。

振込先

三井住友銀行 麹町支店 普通預金 口座1672800 口座名義 ミスダンスドリルチーム
------------------------------------------------

## 7. 出場資格及び実施部門

クラブチーム、ダンススタジオ、学外クラブ、地域クラブ、カルチャースクール等  
学校団体以外(学校名での出場不可、チーム名での出場は可)の全ての団体

編成	出場資格	実施部門					
		JAZZ	HIP HOP	Songleading/POM	Dance Drill	DUET TRIO	SOLO
Tiny	出場選手全員が未就学児の編成	×	×	○	○	○	○
Mini	出場選手全員が小学校4年生以下	×	×	○	○	○	○
Youth	出場選手全員が小学校6年生以下	×	×	○	○	○	○
Junior	出場選手全員が中学生以下	×	×	○	○	○	○
Senior	出場選手全員が高校生以下	○	○	○	○	○	○
Open	年齢による出場制限なし	○	○	○	○	○	○

※出場編成は年長者の出場選手に合わせること

Tiny～Junior編成についてはSongleading/POM以外の演技はすべてDance Drill部門になる

## 8. 演技時間

JAZZ,Songleading/Pom,HipHop,Dance Drill 2分30秒以内

Solo,Duet,Trio 1分30秒以内

## 9. 評価について

下記点数により**エントリー選手全員**にそれぞれ**金、銀、銅のメダル**が送られる。

	銅賞	銀賞	金賞
点数	～69点	70～79点	80点～

## 10. 演技フロア

- 演技フロアはバスケットコートと同じ縦15m×横28mとする。  
会場の状況によって演技フロアのサイズを変更する場合がある。
- 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。  
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着するなど床に傷を付けない工夫をすること。

## 11. 音源について

音源はCDで当日持参すること。

録音は音楽CD形式(CDA)、Mp3等データ形式は不可。CDの中には1曲のみ入れること。

(2曲以上使用する場合は、必ず1曲に編集しておくこと)

CDは必ずCDデッキ等、異なる複数の機器で再生できることを確認すること。

別紙「大会使用音楽届け出書」に必要事項を入力の上、エントリーと同様のメールアドレスまで提出してください。

各種手続きの簡略化の為に、メール添付での提出にご協力ください。

出場に関しての留意事項

日本語以外の歌詞の楽曲を使用する場合は、その歌詞に不適切な言葉がないか、必ず確認をすること。

特にHIP HOPの楽曲には注意すること。

## 12. セーフティガイドライン

本協会では、安全に競技を行うために、下記のセーフティガイドラインを設定する。

- A. シューズは必ず履くこと。(コンテンポラリーシューズ等は可)  
ピアス、イヤリングは禁止。
- B. ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止(ストールなどを含む)。(例外:前転・後転は認められる) 体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。  
全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。  
※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。
- C. 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。  
(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)  
人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)  
人の上から飛び降りるのは禁止。  
但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)  
※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可能。
- D. その他、審判員が危険とみなした行為。

## 13. ペナルティ

- (1) 8項が定める演技時間の超過が5秒以上あった場合は結果より**2点減点**する。
- (2) 10項(4)演技フロア保護の為に適切な処置がされていなかった場合(失格および修繕の為の実費請求)
- (3) 12項が定める禁止事項一人一回の実施につき結果より**2点減点**する。

## 14. 共通審査項目

フロア全体を使いSHOW UPされた観客を魅了するパフォーマンスとその完成度が要求されます。

### 【演技内容】

- ・チーム／部門ごとのオリジナリティある演技。
- ・多様なフロアの使い方、フォーメーションの連続性のある移り変わり。
- ・技の難度がチームのレベルにあっていること

### 【実施】

- ・正確さ(一致した動き、人と人との間隔が均等であること、など)

### 【演技者としての自覚】

- ・観客を楽しませる表情、表現力、アピール

### 【外見】

- ・工夫を凝らした美しい衣装(年齢に合ったもの。観客に不快感を与えるものは避けること。)

カテゴリーごとのテクニクにおいて難度の高さがすべてではありません。

未熟なものは逆に作品の完成度を下げてしまうことになります。

## 15. 部門毎の審査ポイント

※下記にある、テクニクとは各年代・チームにあったテクニクを指します。

- 1) **SONGLEADING / POM**  
POMを生かし、視覚的効果のある構成と正確でシャープなアームモーションが求められます。  
※全員で全体の80%以上POMを使用すること。
- 2) **JAZZ**  
ダンステクニクと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められます。
- 3) **HIP HOP**  
音楽と調和した連続性のある構成と、技術の正確性、ボディコントロールが求められます。
- 4) **DANCE DRILL**  
設定されている部門以外のダンスジャンルであること。  
各ジャンルの特徴を生かした構成が求められます。  
例(プロップ/メジャーレット/ショートフラッグ/ノヴェルティ等、Tiny~Junior編成はJAZZ、HIP HOPも含む)
- 5) **DUET/TRIO**  
各ジャンルのダンステクニクと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性が求められます。  
上記1)~4)までのジャンルがベースになっている事が望ましい。
- 6) **SOLO**  
ダンステクニクと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められます。  
また、1人でどこまで会場を魅了できるかが求められます。